

378) 残像

あの頃は由香ちゃんと ひとつ星導かれ
快晴の海原を まっすぐに走ってた
喧嘩して離れても 翌日は肩組んで
いつの日か僕たちは 結ばれる気がしてた

あの頃の思い出は
手帳に入れた写真みたいに
僕の心に残っているよ

あの頃は夜中まで 長電話よくしたね
果てしない夢を見て 幻を追いかけた
幸せな^{とき}時間は過ぎ 由香ちゃんもういない
歳月は僕たちを いつの間に遠ざけた

あの頃の思い出は
消しそこなったビデオみたいに
僕の心に残っているよ

冬の影長くのび 黄昏が迫ってる
吐く息に遠き日が ぼんやりと映ってる
くじゅうくり
九十九里海を見た あの日は帰らない
すぎし日の由香ちゃんは 今はもう夢の中

あの頃の思い出は
破りそこねた手紙みたいに
僕の心に残っているよ